

開講年度：2026

科目名	医学英語・医療経済 Optimal class for understanding the necessary knowledge for future doctors	題目（副題）	将来の医師として必要な知識を学ぶ・医療経済、IT、起業、AIビッグデータ解析、メディカルパフォーマンス、英語での症例検討や論文作成・	
担当教員、教員連絡先内線	田中 直樹	naopi@shinshu-u.ac.jp		
学年、講義期間、曜日・時限	4	前期(集中)	集中・不定期	
単位数、講義室	2 単位		遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業達成目標	
臨床実習前の到達目標	・講義、教科書、検索情報などを基に、自らの考えを示すことができる。 ・コミュニケーションの方法と技能およびその及ぼす影響を概説できる。 ・良好な人間関係を築くことができる。 ・医療事故の防止において個人の注意、組織的なリスク管理の重要性を説明できる。 ・生涯学習の重要性を説明でき、継続的学習に必要な情報を収集できる。			
授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生、多文化協働、健康長寿、キャリア			
全学横断特別教育プログラム				
授業のキーワード	医療経済、節電、起業、AIビッグデータ解析、メディカルパフォーマンス、case presentation, original article, case report			
授業の概要・一般目標	A-2-1) 自分の力で課題を発見し、自己学習によってそれを解決するための能力を身に付ける。 A-2-2) 科学や社会の中で医学・医療だけでなく様々な情報を客観的・批判的に取捨選択して統合整理し、表現する基本的能力（知識・技能・態度・行動）・リベラルアーツを獲得する。 A-4-1)患者やその家族との対話を通じて、良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力について概説できる。 A-7-2) 国際社会における医療の現状と課題を理解し、実践するための基礎的素養を身に付ける。 A-8-1)医学・医療の進歩と改善に資するために研究を遂行する意欲を身に付ける。 A-9-1) キャリアを意識し、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲と態度を有する。歩と改善に資するために研究を遂行する意欲を身に付ける。 B-1-8) 限られた医療資源の有効活用の視点を踏まえ、保健・医療・福祉・介護の制度の内容を学ぶ。			
テキスト、教材、参考書	適宜紹介します。ハンドアウトあり。			
履修上の注意	振り返りフォームによる出席、アンケートを必ず取るので、欠席・遅刻しないようにする。欠席の場合は、事前に連絡すること。			
授業の形式、視聴覚機器等の活用	印刷した紙資料やパワーポイントなどを用いた講義形式およびゼミ形式。1年次に行ったCOILと同様、小グループに分かれてタイ・インドネシアの医学生（同学年）とオンラインで結び、症例の診断へと導いていく clinical COIL を行う（時差の関係で午後のコマで3日間に分けて行う）。			
成績評価の方法	医学英語に関する小テスト、期末試験の合計点、TOEFLやIELTSのスコアを加味して、成績を判定する。 試験では、本授業の学修目標への到達度および今後に必要な知識が定着しているかを確認する。			
成績評価の基準	授業後に、授業に関連するレポートや課題を課すことがある。レポート内容や授業への取り組み状況、TOEFLやIELTSのスコアを点数化し、期末試験のスコアとともに、総合点を算出する。満点を100点として、各人の総合点を換算し、90点以上は秀、80～89点は優、70～79点は良、60～69点は可、60点未満は不可とする。 全ての回に出席することを基本とします。この授業の達成目標に到達するために必要な出席回数（およそ8割程度）に出席が満たない場合は、単位を認めない場合があります。欠席した場合の学修補充については、医学部医学科履修及び試験内規に従います。			
事前事後学習の内容	課題については、授業中に指示する。			
学生へのメッセージ並びにオフィスアワー（質問、相談への対応）	医学英語に関する伝達式講義ではなく、Clinical COIL や英語の論文・症例報告の読み方・書き方、そして、医療経済、節電、起業、キャリア形成、AIビッグデータ解析、メディカルパフォーマンス、などに関する先輩医師、工学部・経法学部の教員、会社経営者によるオムニバス形式の講義を行います。医学知識だけではなく、これからの医師が身に付けておくべき、医学以外の知識に触れる機会を提供したいと思います。積極的に参加してください。TOEFLなどの外部試験の勉強・受験は各人で行ってみてください。 連絡先：田中直樹（国際医学研究推進学：naopi@shinshu-u.ac.jp）			